



元気・笑顔・成長！南小

Ver2.0

第9号 令和6年7月4日発行 発行者 校長 田口広治

児童数 172
PTA数 127

やさしい言葉を使いましょう！



相良南小学校HP ↑

■相良南小の三つの合言葉に次があります。

「くん」「さん」つけよう やさしい言葉

これがまだまだできていない、という声がよく聞かれます。

6月25日（火）の全校集会で、学校の教育目標「自他を大切にする」に関する話をしました。ある作文コンクールで大賞となった児童作文を紹介しました。次のような内容です。

私の忘れられない言葉は、絵本に書いてあった「ちがってもいいよ」です。

広島県から神奈川県に引っ越し、新しい学校に行ったとき、悲しいことがありました。

私が話すと友達が笑うのです。広島の言葉と神奈川のは違うのです。友達は「なにそれ、なに、じゃけて。変な言葉」と言って笑いました。

「もう学校に行きたくない」と思ったとき、あの絵本を読みました。

「助けてもらってもいい」「色がちがってもいい」「めがねをかけてもいい」など。

最後に、「ちがっていい。君は君である事が特別で重要なことだ」という言葉がありました。私は心が少し軽くなりました。

私は、今、仲の良い友達がいいます。みんな、それぞれちがって楽しいです。

■一人一人によさや得意なことがあれば、苦手なこともあります。男女、背の高さ、体の大きさなどのちがいもあります。しかし、ちがうことを笑ったりばかにしたりすることは、人としてやってはいけないことです。

6月は「心の絆を深める月間」でした。各学級で「心の約束」を決めたり、人権学習を行ったりするなどの取組をしてきました。さらに、7月も「いいところ探し」などの取組を各学級で行っていきます。「自他を大切にし、共に伸びる」南小の子供であってほしいと願っています。

さがらっ子 心の約束
クラスの人権目標

(6年1組)

いじめを見ても見て見ぬふりをしないで、相手の立場に立って、自分がされていやなことはしません。

(5年1組)

わたしたちは、男女関係なく協力し、相手の気持ちを考え行動します。

(4年1組)

わたしたちは、けんかをした時に素直にあやまり、相手のことを思いやる、仲間思いの学級にしていきたいです。

(3年1組)

みんなのよいところをつたえ合い、自分のことも友だちのことも大切にします。こまっている人がいたら、親切な言葉をかけて、たすけます。

(2年1組)

わたしたちはいやなことがあったときは、じぶんの気持ちを つたええます。あいてのよいところを見つけます。

(1ねん1くみ)

わたしたちはじぶんがされていやなこととはともだちにも しません。あいてがうれしくなるようなことどうや ことばづかいをします。

授業参観 ありがとうございました！

■6月28日（金）の授業参観、大変お世話になりました。各学級で、「熊本の心」を使った道徳の授業を行いました。「北里柴三郎」や「山下泰裕」「金栗四三」などの先人や「青井阿蘇神社」といった文化財などを題材としており、郷土を学び、郷土から学ぶことができます。

子供たちは考えを書いたり発表し合ったりしており、各学級でよく頑張る姿を見ることができました。

学級懇談会では、学級の様子やタブレット活用などについての話題がありました。タブレットについては、持ち帰りの際など、ルールを守って使用することなど家庭でも見守りをお願いいたします。



研究授業 教師も学んでいます！

■6月は、4学級で研究授業が行われました。

6年国語「時計の時間と心の時間」（米多先生）は、「一番必要な事例はどれか」について、子供たちが様々な考えを出し合う授業でした。子供たちが主体的に対話をしていました。

1年国語「大きなかぶ」（酒井先生）は、かぶがぬけた場面での登場人物の思いを考える授業でした。子供たちがたくさん考えを書いたり対話したりしていました。

5年算数「割合」（平川先生）は、割合をもとに3つのリボンの長さを求める授業でした。子供たちが自分で考えたり話し合いをしたりして、必死に考える様子がありました。

せせらぎ2組では、3年と4年の2学年を別府先生が行き来しながら授業を進められました。一人一人が考えを書いて発表したり問題を解いたりしていました。

■学校全体で、子供たちが進んで考えたり話し合ったりして、分かる・できるようになる授業づくりを目指しています。

研究授業の後には、研究会を行い、授業についての協議を行っています。子供たちが主体的に学んでいたのか、考えを深めることができたのか、などについて意見交換をしました。よりよい授業を目指して、私たちも学び続けます。

